

# 葉山の里 田代地区地域づくり計画

～ふるさと田代を愛し、交流の輪を大きく広げよう～



平成22年3月

田代地区地域づくり推進協議会

## はじめに

近年、中山間地の集落は都市中央部への人口流出が急速に進み、崩壊寸前の集落が全国に数多くあり、農林業を中心に支えてきた田代地区でも高度経済成長とともに農業離れが進み、兼業化や農業後継者の異業種転換などで担い手不足や高齢化が進み、殆どの農家が通勤世帯に変化しました。

このような状況下、田代地区では通勤距離の短い市街地中心部への流出が急速に進み、現在では77戸に減少しました。現在進められている営農飲雑用水整備事業の採択申請時の平成14年度の世帯数92戸から見れば急激な減少で、将来の集落維持が危惧されるところです。こうした将来に対する不安や危機感から、青年層を中心として田代を想う有志による「田代元気会」が立ち上げられ、まずは自分たちが住む集落は自ら楽しく過ごさなければ他所の人は呼び込めないとのことから、閉ざされていた盆踊りや伝統行事などを積極的に実施し、区民も徐々に誘導され、田代の良さを実感してきております。

このような地域づくりの機運が高まる中、今回、佐藤洋樹市長の計らいで中山間地域の活性化を図るべく、田代・幸生地区に寒河江市の地域担当職員を配置し、将来のビジョンづくりを行うことになったところです。田代では、各種団体の代表者による「田代地区地域づくり推進協議会」を8月に設立し、委員24名と地域担当職員4名が一体となって「田代地区地域づくり計画」を策定しました。計画の実施に当たっては、今すぐ実施する事業と長期的な事業と分けられています。いずれの事業においても区民皆さんの連携と協力が不可欠であり、田代に住んで良かったとの声が聞かれ、元気で活力ある集落に発展するよう願うところであります。また、集落だけでは出来ない事業がたくさんありますので、県・市・各関係機関の絶大なるご支援とご配慮を賜りますよう今後ともよろしくお願い申し上げます。

最近、地球温暖化や環境問題で、CO<sub>2</sub>の削減は避けられない状況下にあります。田代地区は殆どが山林原野で占められており、環境問題等で山林も見直される時代に入りました。人口密集地の都会では住めない状態になり、田舎暮らしに戻るのではないかと予測されます。早稲田大学と交流している葉山村塾でも、田代地区を訪れるリピーターが増えてきています。今後、田舎暮らしが増え、田代地区の定住人口が増加するよう期待するところであります。

田代地区地域づくり推進協議会  
会長 佐藤 昭右衛門

# 1 計画策定の趣旨

田代地区は、かつて出羽三山の一つとして山岳信仰で栄えた葉山の中腹に位置し、豊かな自然に恵まれた歴史ある集落です。地区では、450haの山林を有する財団法人田代区山公社が組織され、これまで豊かな山の恵みを楽しみ、地域特性を生かしたさくらんぼや葉タバコの生産等が盛んに行われてきました。

しかし、近年、人口・世帯の流出と高齢化が急速に進み、寒河江市合併間もない頃の昭和30年代に200戸の世帯を数え、人口は1,100人を超えていたものが、平成8年には100戸を割り込み、現在では77戸、272人まで減少しています。また、65歳以上の住民の占める割合を表す高齢化率は37%に達し、住民の4割が高齢者という極端な高齢化が進み、将来的に、集落機能の維持にも様々な課題が生じてくることが懸念されています。

地区民の多くは、田代集落の将来を案じており、田代はこのままでいいのか、田代の将来をどうするのか地区民全体で真剣に考える必要があります。

このため、平成21年7月、地区内の各種団体から選出された24名の委員と、寒河江市が新たに導入した地域担当職員4名を交えて、「田代地区地域づくり推進協議会」を組織し、自分たちの住む田代地域について夢と誇りの持てる将来像を描き、地域と行政の役割分担を明確にしながらその実現を図るために、「田代地区地域づくり計画」を策定したものです。

## 2 地域づくりの目標

協議会では、平成20年に田代公民館が実施した「地域づくりアンケート」を活用しながら話し合いを重ねた結果、田代の持つ豊かで魅力ある自然を有効に活用し、地区外の人にもっと田代を知ってもらい、田代に足を運んでもらえるようにすべきとの声が多く出されました。

田代に住むみんなが田代に誇りと愛着を持ち、みんなで助けあいながら住民同士の交流を深め、さらに地区外からも大勢の人々に訪れてもらえる田代にするため、地域づくりの目標を

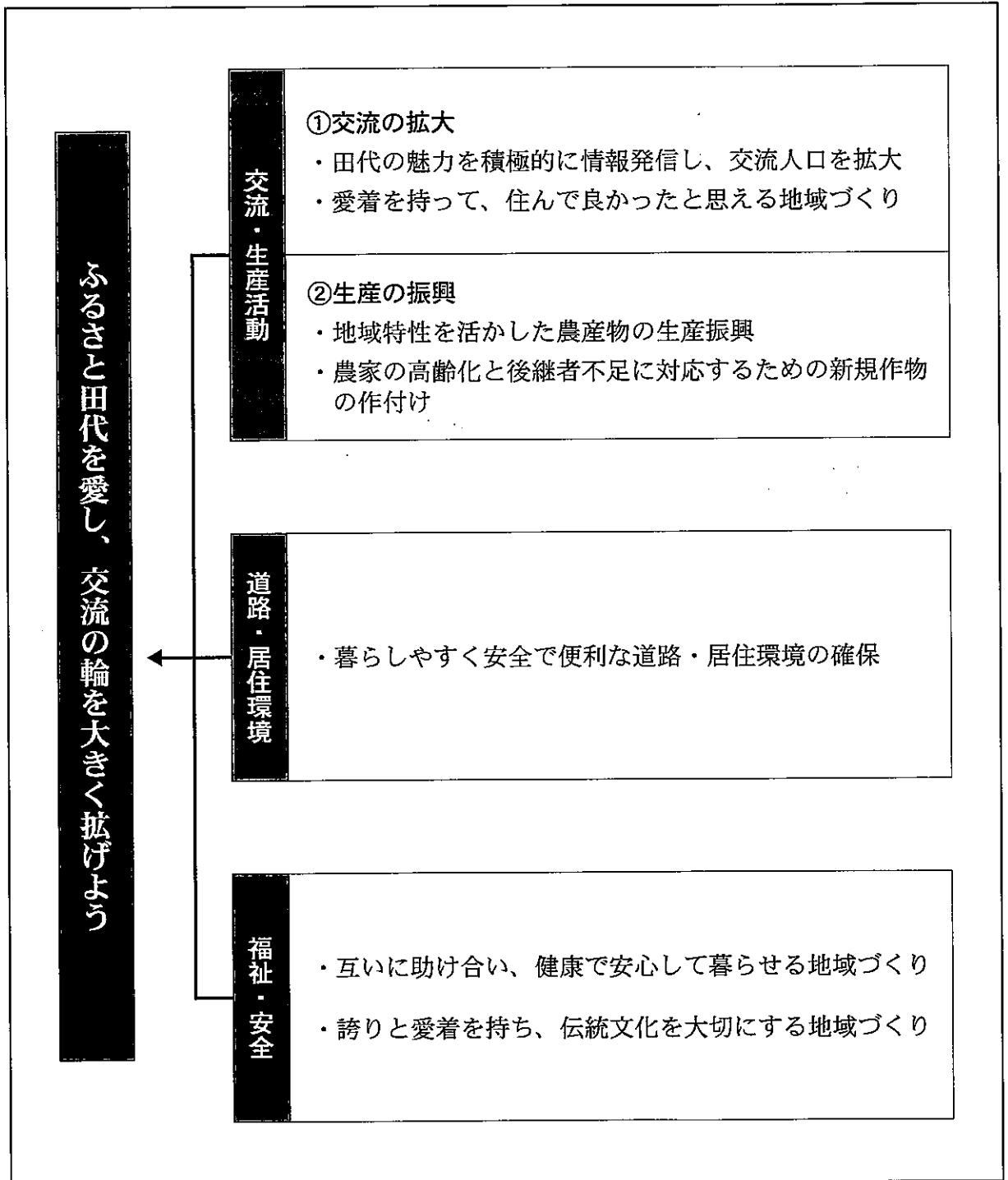
**ふるさと田代を愛し、交流の輪を大きく広げよう**

とします。



### 3 目標を実現するための取り組み

地域づくりの目標の実現に向けて、「交流・生産活動」、「道路・居住環境」、「福祉・安全」の3つのテーマに分けて、目指すべき方向と具体的な取り組みを掲げます。



## (1) 交流・生産活動

### ① 交流の拡大

#### ■現状と課題

田代には、里山、棚田の風景そして葉山をはじめとした美しい自然、文化、伝統、山菜・きのこ等の山の幸、湧水、葉山高原牧場など貴重な地域資源がたくさんあります。しかし、地理的に市街地から遠方にあることから、観光客が訪れることも少なく、他の地域との交流も少ない現状となっており、住民の中にも田代を閉鎖的と捉えている人を見受けられます。



また、近年、人口減少と高齢化が進み、集落の活性化が課題となっており、今後は、他地域との交流を助け、地区外に向けて田代の良さを積極的にPRすることや、住民が一体となって楽しめるイベントの開催などを通じて、地区外の人々を田代に呼び込み、交流人口の拡大によって田代地区の活性化を図っていくことが必要です。

10周年を迎えた葉山村塾では、早稲田大学のゼミの一環として、毎年、学生が農業体験に訪れており、また、大学祭には田代から農作物やいも煮鍋等を持参して訪問するなど相互交流も進んでいます。こうした活動を継続し、地区民以外の田代のファンを獲得することで、田代地区の活性化を図ることも期待されます。

10周年を迎えた葉山村塾では、早稲田大学のゼミの一環として、毎年、学生が農業体験に訪れており、また、大学祭には田代から農作物やいも煮鍋等を持参して訪問するなど相互交流も進んでいます。こうした活動を継続し、地区民以外の田代のファンを獲得することで、田代地区の活性化を図ることも期待されます。

#### ■向かうべき姿

田代の歴史・伝統・特性を生かし、自ら情報を発信して他地域との人・物・情報の相互交流を行うことにより、地域の良さを見つめ直し、住んでいて良かったと思えるような、また、他の地域から行ってみたいと思えるような元気が出る地域づくりを目指します。

- ・ 田代の魅力を積極的に情報発信し、交流人口を拡大
- ・ 愛着を持って、住んで良かったと思える地域づくり

#### ■具体的取り組み

##### 【地域が行うこと】

- ・ ホームページ作成、情報発信
- ・ 収穫祭の開催
- ・ 田代一周トレッキング・マラソン大会・自転車ツーリング等の開催  
(収穫祭と同時開催)
- ・ グリーンツーリズム（農作業等田代独自の各種体験）の実施

### 【行政と協力して行うこと】

- ・ 田代の案内看板の設置（国道沿い）
- ・ 阿部森の山に展望台（見晴台）や遊歩道の設置、桜の植栽
- ・ 葉山高原牧場祭りへの参加

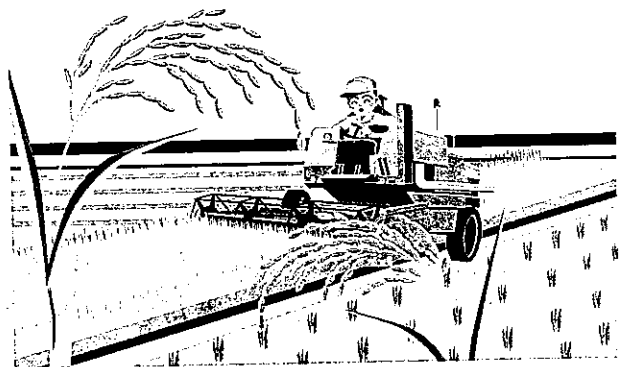
### 【行政に依頼すること】

- ・ 葉山登山道の整備
- ・ 温泉掘削と温泉を生かした地域活性化対策

## ② 生産の振興

### ■現状と課題

田代地区77世帯数のうち9割が農家で、耕作する農地は約100haあり、そのうち水田が約60ha、畑が約40haとなっていますが、作付けされないで保全管理や遊休農地になっている農地も多く、その解消と活用が課題となっています。



水稲については、ほとんどの農家が田代営農組合に加入し、肥料・農薬の共同購入や、田代利用組合に田植え・稲刈り・乾燥調製の作業委託を行い、経営の効率化に努めていますが、水路が老朽化しているため、生産活動の継続と優良農地の維持のため早急な整備が課題となっています。

さくらんぼや啓翁桜については、今後、施設整備を推進し、付加価値の高い生産の拡大を図る必要があります。

その他、葉山大根・キャベツ、ブルーベリー、プルーン、原木なめこ等のきのこ類、わらび、そばなどは、田代ならではの産品として、今後とも生産振興を図っていきます。

田代地区が抱える大きな課題として、農業従事者の高齢化と後継者不足があげられます。条件の悪い中山間地帯ということもあり、これまで国の中山間直接補償制度を活用しながら耕作放棄にならないように圃場や農道等の共同管理を行ってきましたが、今後ともこれまでどおり管理・維持していけるか大変心配される状況となっています。

### ■向かうべき姿

葉山の里としての美しい自然・景観と住みよい農村集落を維持するためには持続

可能な農業生産活動を行うことが不可欠です。

このため、地域の特性を生かした農産物の生産振興を図るとともに、新たな特産物を開発し、地域の特産品として売り出すことにより、農業経営の安定と農村集落の発展を目指します。

- ・ 地域特性を活かした農産物の生産振興
- ・ 農家の高齢化と後継者不足に対応するための新規作物の作付け

#### ■ 具体的取り組み

##### 【地域で行うこと】

- ・ 農産物無人販売の拡大と無人販売所のマップ作成
- ・ 遊休農地等を活用した新たな地域特産物の生産振興
- ・ 啓翁桜の生産振興
- ・ 熊の峯（優良農地）における水稻生産振興

##### 【行政に依頼すること】

- ・ 根曲がり竹（笹竹）、ポロタン（栗）の苗木導入に対する助成
- ・ 啓翁桜の芽ふかし施設整備に対する助成
- ・ 熊の峯の農業用水路整備

## (2) 道路・居住環境

### ■ 現状と課題

田代地区は、国道112号から5 km以上山間部に入らなければならない、全般にわたって狭い道路や公共交通機関もなく、生活必需品の買物や通勤通学にとって交通の便の悪いことが、地域を離れる家族が増え、住民の減少につながる理由の一つにあげられると思われま



す。市街地と田代を結ぶ道路は、県道田代白岩線が唯一の道路ですが、道路が狭く、見通しの悪い箇所があり危険な状況です。現在、道路整備が行われているところですが、早急な完成を求めていく必要があります。

また、地域内の市道や林道は生活に直結した道路のため、早い段階で整備しなければならないと考えています。さらに、田代地区は市内でも有数の豪雪地帯であり、冬季間の通勤通学の足の確保のためには、きめ細かな道路除雪も大切な問題です。

こうした住みよい道路・居住環境の整備は、日常生活に不可欠であるとともに、地



区外の人々との交流の拡大にとっても、大変重要な課題であり、行政に対して整備促進を強く要望していく必要があります。その一方、行政に頼るだけでなく、住民一人ひとりが協力しながら、住みよい居住環境をつくって行くことも求められています。

#### ■向かうべき姿

道路・居住環境における課題を一つ一つ解消するため、住民と行政が協力し安心して暮らせる地域づくりを目指します。

### ・暮らしやすく安全で便利な道路・居住環境の確保

#### ■具体的な取組み

##### 【地域が行うこと】

- ・道路清掃や環境美化の取組み

##### 【行政に依頼すること】

- ・県道田代白岩線の整備促進
- ・道路照明灯による危険箇所の解消
- ・市道田代1号線の拡幅工事
- ・林道岩木線の舗装、側溝整備
- ・常時通行可能な除雪体制の強化
- ・公共交通機関にかわる移動手段の確保
- ・合併浄化槽整備に対する補助

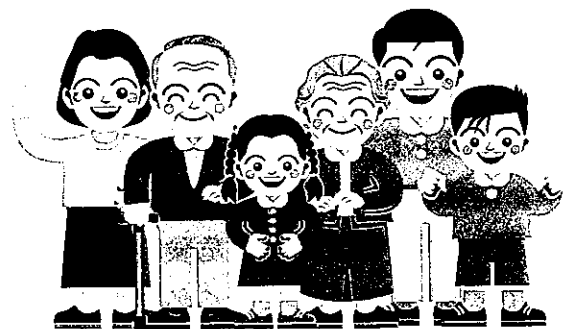
### (3) 福祉・安全

#### ■現状と課題

田代は、自然と共生した生産活動や集落活動を通じて、育くみ、守り続けてきた他の地域に負けない豊かな自然環境や伝統的な文化といった多くの魅力を持つ地域です。

しかしながら、人口減少や高齢化の進展により、集落機能の維持や地域の活力低下、住民の連帯意識の希薄化などが懸念される状況となっています。

このため、子どもからお年寄りまで誰もが地域に「誇り」と「愛着」を持てる地域づくりと、「健康」で「安心」して生活を送ることができる環境の整備が課題となっ



います。

また、田代地区には公共の交通機関がなく、今後、さらに増えることが予想される高齢者や、子供たちにとって移動手段が無いということは、生活するうえで大変不便であると感じています。

このため、公共交通機関に変わる移動手段の確保は、今後ますます重要性を増してくる課題と言えます。

#### ■向かうべき姿

誰もが田代に誇りと愛着を持ち、若者と高齢者の交流を深め、地区全体が互いに助け合って安心して暮らせる地域づくりを目指します。

- ・互いに助け合い、健康で安心して暮らせる地域づくり
- ・誇りと愛着を持ち、伝統文化を大切に作る地域づくり

#### ■具体的取り組み

##### 【地域が行うこと】

- ・郷土料理の伝承（料理教室）
- ・高齢者と若者の交流（謡い、わら細工、しめ縄づくり等）

##### 【行政と協力して行うこと】

- ・高齢者世帯への除雪支援
- ・災害時の協力体制づくり

##### 【行政に依頼すること】

- ・市によるバス運行など生活の足の確保
- ・高齢者サロンの充実（健康教室など）

## 4 計画の期間

平成22年度から平成24年度のおおむね3か年で実施します。

## 5 計画の実現に向けて

この計画の実現には、田代地区の住民一人ひとりの理解と協力が不可欠であるとともに、行政の支援が必要です。

計画に掲げた目標の達成に向けて、地域と行政の役割分担を明らかにした実施計画を立て、みんなで行動していきます。



## 6 実施計画

| 分類                              | 提 案 の 内 容                                | 実施する時期 |      |        | 役 割 分 担 |             |    |
|---------------------------------|--|--------|------|--------|---------|-------------|----|
|                                 |  | 今すぐ    | 2~3年 | 時間をかけて | 地域      | 協力して<br>合って | 行政 |
| 交<br>流<br>・<br>生<br>産<br>活<br>動 | 案内看板の設置（国道112号沿い）                        | ○      |      |        |         | ○           |    |
|                                 | ホームページ作成・情報発信                            | ○      |      |        |         | ○           |    |
|                                 | 収穫祭の開催（米、果物、野菜、山菜、そば等）                   | ○      |      |        | ○       |             |    |
|                                 | 田代一周トレッキング・マラソン大会・自転車ツーリング等の開催（収穫祭と同時開催） |        | ○    |        | ○       |             |    |
|                                 | グリーンツーリズム（農作業等 田代独自の各種体験）の実施             | ○      |      |        | ○       |             |    |
|                                 | 阿部森山に展望台・遊歩道の設置、桜の植栽                     |        |      | ○      |         | ○           |    |
|                                 | 牧場まつりに田代コーナーの設置                          | ○      |      |        | ○       |             |    |
|                                 | 葉山登山道の整備                                 |        | ○    |        |         | ○           |    |
|                                 | 温泉掘削と温泉を活かした地域活性化対策                      | ○      |      |        |         |             | ○  |
|                                 | 遊休農地等を活用した特産物（根曲がり竹・栗等）の植栽（苗木助成要望）       | ○      |      |        |         | ○           |    |
|                                 | 農産物無人販売の拡大（マップ作成）                        | ○      |      |        | ○       |             |    |
|                                 | 啓翁桜の芽ふかし施設の整備（助成要望）                      | ○      |      |        |         | ○           |    |
|                                 | 熊の峯の農業用水路の整備                             | ○      |      |        |         | ○           |    |
| 道<br>路<br>・<br>居<br>住<br>環<br>境 | 道路清掃・環境美化の取組み                            | ○      |      |        | ○       |             |    |
|                                 | 県道田代白岩線の整備促進                             | ○      |      |        |         |             | ○  |
|                                 | 道路照明灯による危険箇所の回避                          | ○      |      |        |         |             | ○  |
|                                 | 市道田代1号線の拡幅整備                             | ○      |      |        |         |             | ○  |
|                                 | 林道岩木線の舗装・側溝整備                            | ○      |      |        |         |             | ○  |
|                                 | 冬期間の除雪態勢の強化                              | ○      |      |        |         |             | ○  |
|                                 | 公共交通機関にかわる移動手段の確保                        | ○      |      |        |         |             | ○  |
|                                 | 合併浄化槽設置に対する助成                            | ○      |      |        |         |             | ○  |
| 福<br>祉<br>・<br>安<br>全           | バス運行などによる生活の足の確保                         | ○      |      |        |         |             | ○  |
|                                 | 郷土料理の伝承（料理教室）                            |        | ○    |        | ○       |             |    |
|                                 | 高齢者と若者の交流（謡い・わら細工・しめ縄づくり等）               | ○      |      |        | ○       |             |    |
|                                 | 高齢者世帯の除雪支援                               | ○      |      |        |         | ○           |    |
|                                 | 災害時の協力体制づくり（マップづくり等）                     | ○      |      |        |         | ○           |    |
| 高齢者サロンの充実（健康教室等の実施）             | ○  |        |      |        | ○       |             |    |

## 田代地区地域づくり推進協議会委員名簿

| 役職  | 氏名      | 所属団体（役職名） |      |
|-----|---------|-----------|------|
| 会長  | 佐藤 昭右衛門 | 田代区       | 区長   |
| 副会長 | 宮林 達雄   | 田代区       | 区長代理 |
| 事務局 | 宮林 敏郎   | 田代区       | 会計   |
| 委員  | 菫蒲 政昭   | 田代区       | 厚生部  |
| 委員  | 菫蒲 権作   | 田代老人クラブ   | 会長   |
| 委員  | 佐藤 義弘   | 田代老人クラブ   | 副会長  |
| 委員  | 佐藤 豊子   | 田代婦人会     | 会長   |
| 委員  | 宮林 涉子   | 田代婦人会     | 副会長  |
| 委員  | 沖津 勝美   | 田代公民館     | 館長   |
| 委員  | 佐藤 憲衛門  | 田代公民館     | 主事   |
| 委員  | 齋藤 好弘   | 田代公民館     | 会計   |
| 委員  | 菫蒲 久衛   | 田代小PTA    | 会長   |
| 委員  | 田代 拓    | 田代小PTA    | 副会長  |
| 委員  | 佐藤 智弘   | 田代小PTA    | 会計   |
| 委員  | 沖津 康弘   | 前田代若衆団    | 頭取   |
| 委員  | 宮林 秀行   | 行沢・葉ノ木若衆団 | 頭取   |
| 委員  | 宮林 冬樹   | 行沢・葉ノ木若衆団 | 副頭取  |
| 委員  | 沖津 圭子   | しゃくなげ会    | 会長   |
| 委員  | 宮林 裕子   | しゃくなげ会    | 副会長  |
| 委員  | 佐藤 政人   | 田代元気会     | 代表   |
| 委員  | 佐藤 勝則   | 田代元気会     | 役員   |
| 委員  | 佐藤 義教   | 田代元気会     | 役員   |
| 委員  | 菫蒲 久一   | 田代利用組合    | 組合長  |
| 委員  | 高橋 渡    | 田代営農組合    | 組合長  |